

## 2 班班山行 堂所山

山行日 2022年8月6日(土)

参加者 LM山 SLN村 I貝 S藤 t(記)

コース 陣馬高原下バス停 9:00—登山口 9:30—底沢峠 10:20/10:35—堂所山 11:00/11:25—  
関場峠 12:00—小下沢キャンプ場 13:20/13:35—梅の里入り口バス停 14:35

日本列島は異常気象により、連日のように猛暑が続いたがここ数日は落ち着き一安心だ。しかしながら空は厚い雨雲に覆われて今にも一雨ありそうな嫌な予感がする。

高尾駅北口から陣馬高原下行きバスに乗り終点で下車する。荷物の整理をし、体をほぐしながら準備体操する。さて出かけようとするときには一緒に乗ってきた登山者は誰一人いない。皆出かけた後で我々が最後の組らしい。沢沿いの林道を進んでマス釣り場を過ぎると林道は終わり杉林の急な山腹を上ようになる。昨夜の雨のつゆが笹の葉についており気持ちが良い。足元の根っこと滑り具合に気を付けながら登る。

見晴らしのない樹林帯を歩いていると上の方から人の声がするみたいだ。底沢峠に到着したのだ。陣馬山との縦走路についたのだ。堂所山へは幅の広い整備された道であった。登山者も多かった。若い人達が多かったので殆どの登山者に抜かれたのではないだろうか。トレランも混じっていた。頼もしいと羨むばかりである。堂所山の頂上も樹林帯の中なので周りの景色は見られない。陣馬山や景信山とは大違いである。それでも家庭の庭に咲いていそうなアジサイの花が咲いていた。頂上で早い昼食を食べて関場峠に歩き出す。峠を下り降りると広い車道の跡のような道に出る。カーブのところに車用の鏡がさびたまま残っているので多分このあたりまで車が来ていたのだろうと思われる。登山道は歩く人が少ないので雑草が生い茂りそれをかき分けて歩いているようである。登山道も台風や大雨によりあちこちで崩壊がありヒヤッとする場所も数箇所あった。それを過ぎ沢沿いを歩く。ようやくキャンプ場跡到着する。お疲れ様でした。

